



# 第22回（2023年度）やどかり研究所 報告・交流集会のご案内

日時 2024年3月2日(土) 9時30分～16時

会場 やどかり情報館 ※会場とオンラインでのハイブリッド開催です。

主催 公益社団法人やどかりの里 やどかり研究所

## まちの中の茶の間づくり 小さなつながりからまちを元気にする

やどかり研究所は、精神障害のある人や家族、支援者、研究者による研究所です。当事者や家族とともに調査研究活動、学習活動を進めていることに特徴があります。年に1回開催されるやどかり研究所報告・交流集会は、会員による実践・研究報告とその時々大切なテーマを取り上げ、ゲストスピーカーを交えて討論します。

さて、第22回となる本集会ですが、午前中の研究・実践報告では、当事者や家族の意見を聴きつつ、医療・福祉に関する歴史的な資料の研究利用のあり方や利活用について研究されている立命館大学の後藤基行さんにご報告いただきます。やどかりの里にヒアリングにいらした際に記録のあり方、残し方、活用方法等々考える機会となりました。記録や資料を残し、どう活用するのか、それは明日からの実践、あるいは障害者政策の見直しやこれからを考えることにつながるはずです。

午後は「まちの中の茶の間づくり」がテーマです。川崎市で活動するコミュニティナースの石井麗子さん（一般社団法人プラスケア）のお話を伺います。プラスケアでは、「暮らしの保健室」を開設し、「人とつながり、まちを元気にする」を実践中です。実践から見えてきたこと、これからの展望など伺います。

やどかりの里では、精神障害のある人や家族が、安心して過ごせる場や仲間との出会いで自分の人生を取り戻してきました。その場所は「茶の間」と呼ばれ、誰でも目的がなくてもいられる場所でした。そして、地域に小さな居場所を点在させてきましたが、やどかりの里にたどり着いていない人たち、「助けて」と言えずにいる人たちとつながりたいと考えるようになりました。そして、2020年から「未来を拓く つなぐ・つくるプロジェクト」を開始し、市内数か所で地域巡回を行い、まちなか保健室にも取り組み、2023年5月から「エシカルCafé としょかんのとなり」を開設しました。約3年間の活動について、現時点で見えてきたこと、今後の課題などを報告します。

そして、「まちの中の茶の間（居場所）」をキーワードに、川崎市とさいたま市での取り組みを重ね、活動が生まれた背景なども視野に入れ、法や制度からこぼれ落ちてしまう地域の課題にどう応えていくのか、語り合っていけたらと思っています。

---

### お申込み・お問合せ

やどかり研究所事務局（やどかり情報館内）

TEL：048-680-1891 FAX：048-680-1894

E-mail：y.kenkyu@yadokarinosato.org

〒337-0026 埼玉県さいたま市見沼区染谷 1177-4

## 2024年3月2日（土）プログラム

- 9:00~ 9:30 受付
- 9:30~ 9:45 開会 あいさつ / 活動報告
- 9:45~10:00 能登半島地震について
- 10:00~11:00 研究報告

### 医療や福祉に関する記録・史資料はなぜ保存されるべきなのか？

#### —保管と利活用の在り方の検討—

<報告者> 後藤 基行（立命館大学大学院先端総合学術研究科）

#### <要旨>

優生保護法をめぐる強制不妊手術問題は、近年の裁判においては原告勝利のニュースが流れることが多くなっている。これは徐々に個別事例を通じた被害の実相と手術のプロセスの実態が少しずつ明らかになってきていることが背景にある。しかしそれは別の観点から言うと、研究を通じて法律の運用の全体像が判明したのではないということでもある。なぜ優生保護法の手術実態に関する研究が少ないか、ということそれは第一に資料の多くが廃棄されて存在しないこと、第二に残っていたとしても個人情報の壁による資料へのアクセスの困難さ、という2点が指摘できる。

もちろん同様の問題は、例えば精神科におけるロボットミーやハンセン病政策における強制隔離問題など、優生保護法以外にも医療や福祉の領域では様々な形で生じてきた。報告では、こうした問題の実態解明において資料が必須でありながら、日本では医療や福祉に関する記録類がいかに残りにくい仕組みになっているか、また当事者団体などの資料の重要性にも触れつつ、その解決への道筋や事例についても提示したい。

#### 《 休憩 》

- 11:10~12:00 会員による研究・実践報告と討論

#### 報告① 優生思想に抗うケアの文化論

<発表者> 結城 俊哉（立教大学コミュニティ福祉学部）

#### <要旨>

優生思想とはなんだろうか？

それを問うべき問題に私たちは日々直面しているはずなのに、当事者の「痛み・苦しみ・悲しみ」に無関心ではないだろうか。例えば、人種差別（関東大震災—100年前）の時の「朝鮮人虐殺事件（映画「福田村事件」）」、第二次世界大戦の時のナチスによるT4計画・ホロコースト（障害者・ユダヤ人殺戮）、日本兵がアジア大陸で行なった中国人捕虜殺害等々がある。さらに、生命の選別（新型出生前胎児診断—NIPT）問題：「ダウン症をめぐる政治」、生産性・効率性の無い障害者は不幸しか産まないと主張する植松死囚刑による「津久井やまゆり園での「優生テロ」事件（映画「月」）」、「高齢者の安楽死を考える（映画「プラン75」）」、そして、ウクライナとロシア、イスラエルとガザでの紛争・戦争状態が今も止まらない状況が続いています。今回、これまでの世界における「排除の歴史と現状」を読み解く視点として私たちの心（マインド）やこの社会に根深く存在する優生思想を問い直し、抗うケアの文化論について一緒に考えてみたいと思います。

## 報告② 障害当事者におけるピアアドボカシーの機能と役割

### ー日本におけるインタビューを通してー

＜発表者＞ 坂本 智代枝（大正大学社会共生学部）

#### ＜要旨＞

国内外においてソーシャルワークにおけるアドボカシーの理念や方法、機能や役割、支援プロセスは明らかにされている。しかし、精神障害当事者が行うアドボカシー（ピアアドボカシー）は北米をはじめ先駆的な実践は20年以上の蓄積があるものの、障害当事者が行うアドボカシーについては、具体的な機能や役割等に関する研究は未開拓である。そこで、先駆的な精神障害当事者が行うアドボカシー（ピアアドボカシー）の実践から調査研究を踏まえて機能や役割を明らかにしてきたことをもとに、対象者を広げて障害当事者のアドボカシーの機能と役割を明らかにすることが必要である。本研究の目的は、難病を含む身体障害及び高次脳機能障害や発達障害等の障害者に広げて比較検討することである。当日は、分析結果と比較検討の結果と考察について報告したい。

【科研費 JP20K02247 の助成を受けている。】

《休憩 / 昼食（各自お持ちください）》

13:00~16:00

## まちの中の茶の間づくりー小さなつながりからまちを元気にするー

### 「暮らしの保健室」がコミュニティで果たす役割

石井 麗子（一般社団法人プラスケア 看護師・コミュニティナース）

いまや日本全国100か所以上あるといわれる「暮らしの保健室」。身体や健康に関する悩みからふとした疑問まで、気持ちを緩めながらちょうどよい距離感で話せる空間です。プラスケアでは、「枠をこえてゆるくつながる」をコンセプトにカフェやシェアオフィスの一角など、街中の様々な場所を間借りして活動してきました。その実践をもとに暮らしの保健室がコミュニティの中で果たす役割、つながりやコミュニティの変化についてお話しします。

### 未来を拓く つなぐ・つくるプロジェクトがめざしていること

宗野 政美 三石麻友美 宗野 文（公益社団法人やどかりの里）

支援の届いていない人に支援を届けたい、長年活動してきた見沼の自然・文化の魅力を生かした活動をしたい、この2つの思いが合わさって2020年に本プロジェクトが始まりました。地域を巡回し、さまざまな出会いを得て、地域で共通の思い、問題意識をもつ人や団体との連携も進みました。地域のニーズをつかむ努力も重ねてきました。そして、届ける支援に加え、「エシカルCaféとしょかんのとなり」という小さな拠点を開きました。一方でさまざまな課題もあり、これからの展望を描くべく準備中です。現在進行形の活動報告です。

### 全体討論 茶の間 / 居場所づくり

指定発言 松川 慶子（やどかりの里浜砂会）

沖原 雄（中央薬局薬剤師）

松田 正己（東都大学沼津ヒューマンケア学部看護学科教授・公衆衛生学）

## <参加の申し込みについて>

◎ 参加のお申し込みは、Peatix か FAX でお願いいたします。

- ・申し込みの締め切りは、2024年2月27日（火）です。
- ・事前配布資料を2月27日頃、ご指定のメールアドレスに送ります。
- ・オンライン参加の方へは、URL（ミーティング ID、パスコード）を一緒に送ります。  
\*会場参加の方で、資料をメールで受け取れない方は、当日会場で配布します。

◎ 参加費について

- ・やどかり研究所会員は、1,000 円
- ・やどかり研究所の会員でない方は、2,000 円

◎ FAX でお申し込みの方は、以下のご入金口座をお願いします

入金口座 埼玉縣信用金庫 片柳支店 普通 0836761  
口座名義 公益社団法人やどかりの里 やどかり研究所 事務局長 増田一世  
\*出来るだけ開催日前のご入金にご協力ください

## >> Peatix でお申し込みの方

◎ 下記の URL または 2次元コードからお申し込みください。

<https://y-kenkyu20240302.peatix.com/>



## >> FAX でお申し込みの方

FAX 番号：048-680-1894

申し込み日付 月 日

会員区分	研究所会員 ・ 一般	何れかに○で囲んでください	
参加会場	オンライン ・ 会場	何れかに○で囲んでください	
氏名		所属	
連絡先	住所 〒		
	電話番号： オンライン接続などで確認事項が生じたときの連絡のために、当日連絡のつく電話番号をお知らせください		
	E-mail 参加用 URL や事前配布資料等を受け取るアドレスをお願いします		
備考			

※ 個人情報は、上記の目的以外には使用いたしません

ご参加を楽しみにお待ちしております。よろしくお願いたします